

製造現場・生産管理・生産技術部門に従事する技能者・技術者の方へ。

製造現場で発生するヒューマンエラーの基本的な知識、発生時の対応、防止策などグループ実習を交えて学習します。

製造現場におけるヒューマンエラー 対策と実践的技法 講座

日時	令和8年 12月21日(月)～22日(火) 9:30～16:30 2日間(昼休憩1時間)		
会場	鳥取県中部総合事務所 倉吉市東巖城町2-2		
講師	(株)モア・クリエイト 代表取締役 天方 健二 (あまがた けんじ)氏 [講師プロフィール] ～1988年3月(株)神戸製鉄所 加古川製鉄所 勤務 ・厚板圧延設備の“全自動化”を実現 世界一の“全自動モード適用率”を実現 ・冷延工場“酸洗ライン-タンデムミルの連続化”の前条件を整備 1988年4月～(株)モア・クリエイト設立 代表取締役就任、工場改善・改革の為にコンサルティング業を開始 ・専門分野：生産管理、生産技術、工場管理手法、実現場の実改善、機械工学・材料工学・弾性学 ・ポリテクセンター関西/加古川 セミナー講師 ・主な現場改善企業：製鉄・鍛造、ガラス製造、重化学工業、LCD製造、大手スーパー、飲料水、特殊鋼製造、文具家具、 鋼材二次加工業、LCDバックライト(台湾)、携帯LCD(フィリピン)、大型LCD(中国)、産廃処理、水道バルブメーカーなど多数		
目的	人の行動が期せずして悪い結果となった場合、その行動を“ヒューマンエラー”と称しています。このエラー行動の対策をその人のみに期待してはいけません。なぜなら、どんなに優秀な人も毎身体調が変わり、毎日考えることも違うから、毎日同じことはできないのです。ヒューマンエラーの行動に至った状況や、エラー行動を知ることは重要ですが、対策は、誰が担当しても間違わない作業にする必要があります。その為に目を向ける方向は、作業方法、作業標準の在り方、作業環境、作業情報、教育訓練、上司の言動、対象設備、設備駆動ソフトウェアにも至ります。 こう考えて原因・対策を探ることで、大切な“担当者の意欲の喪失を免れる”ことができます。「明るい職場を作り乍らヒューマンエラー対策を図る！」この方法を学ぶことが本コースの目的です。		
養成する能力	ヒューマンエラー対策を企画・推進できるのみならず、多様な価値観を持つ人に対する向き合い方(ヒューマンスキル)を向上させる能力		
締切り	令和8年 11月24日(火)15時まで	定員	15名(先着順)
受講料	7,000円/人(テキストを含む)		
持ち物	筆記用具		
申込み 手続き	令和8年10月20日(火)募集開始		

講座概要

1. コース概要
 - (1) ヒューマンエラーを考える
2. ヒューマンエラーとは
 - (1) ヒューマンエラーの定義
 - (2) よく採られる12の対策(方向性)
3. ヒューマンエラー発生時の原因・対策とそのコツ
 - (1) 12の原因、12の対策
 - (2) ヒューマンエラーを追い詰める7つのポイント
4. ヒューマンエラー防止策
 - (1) ヒューマンエラー対策実践編
 - (2) ロジカルシンキング(論理的思考)
5. ヒューマンエラーは歴史をも動かす

< 鳥取県中部総合事務所会場案内 >



《事務局》鳥取県商工労働部雇用人材局産業人材課 担当：岸・中瀬
電話0857-26-7691/メール:sangyoujinzai@pref.tottori.lg.jp